

株式会社 鳥取銀行 平成28年度 会社説明会

平成28年7月

取締役頭取 平井 耕司

TOTTORI
BANK  鳥取銀行

目次

はじめに

新体制のご紹介	…	1
---------	---	---

経済動向

平成27年度の業績

平成27年度業績の概要	…	4
預金	…	5
貸出金	…	6
有価証券	…	7
健全性	…	8
平成28年度業績予想	…	9

中期経営計画と取組状況

中期経営計画	…	11
地方創生戦略	…	12
法人戦略	…	13
個人戦略 (預かり資産販売・CS向上の 取組み)	…	14
個人戦略 (ローン)	…	15
チャネル戦略・経営管理戦略	…	16
チャネル戦略 (顧客接点の強化)	…	17
人財育成	…	18
コーポレートガバナンス	…	19
地域貢献	…	20

投資家の皆さまへ

株価推移	…	22
株価推移 (地元銀行比較)	…	23
株価推移 (同規模他行比較)	…	24
株主還元	…	25

参考資料

業績	…	27
経営指標	…	28
預金	…	29
貸出金	…	30
業種別貸出金	…	31
金融再生法開示債権	…	32
自己資本比率	…	33
株主構成	…	34

新体制のご紹介



代表取締役会長
宮崎 正彦

代表取締役頭取
平井 耕司

【取締役体制】

平成28年6月30日時点

社内取締役	宮崎 正彦	代表取締役会長
	平井 耕司	代表取締役頭取 (第9代目)
	穂山 誠	取締役専務執行役員
	足立 日出男	取締役専務執行役員
	吉田 和徳	取締役常務執行役員 新任
社外取締役	山脇 彰子	取締役 (社外) 鳥取短期大学非常勤講師
	芦崎 武志	取締役 (社外) 新任 カブドットコム証券(株)取締役会長
	西川 和彦	取締役 (社外) 新任 (株)インフォメーション・ディベロプメント 執行役員

經濟動向



- 生産・消費動向
- 投資動向
- 雇用情勢・景気動向

平成27年度の業績



平成27年度業績の概要

減収となるも経費や与信費用の減少により、経常利益は過去最高

損益状況

(百万円)

	26年度	27年度	前年比
経常収益	16,914	16,604	△310
業務粗利益	13,903	13,456	△447
資金利益	12,667	11,940	△727 ①
役務利益	1,220	1,161	△59
その他業務利益	15	355	340
うち債券関係損益	64	428	364 ②
経費	10,833	10,572	△261 ③
業務純益 (コア業務純益)	3,070 (3,006)	2,884 (2,455)	△186 (△551)
株式等関係損益	6	53	47
総与信関連費用	△106	△208	△102 ④
経常利益	3,329	過去最高 3,363	34
特別損益	412	27	△385
当期純利益	過去最高 2,185	2,107	△78

【主な増減要因】

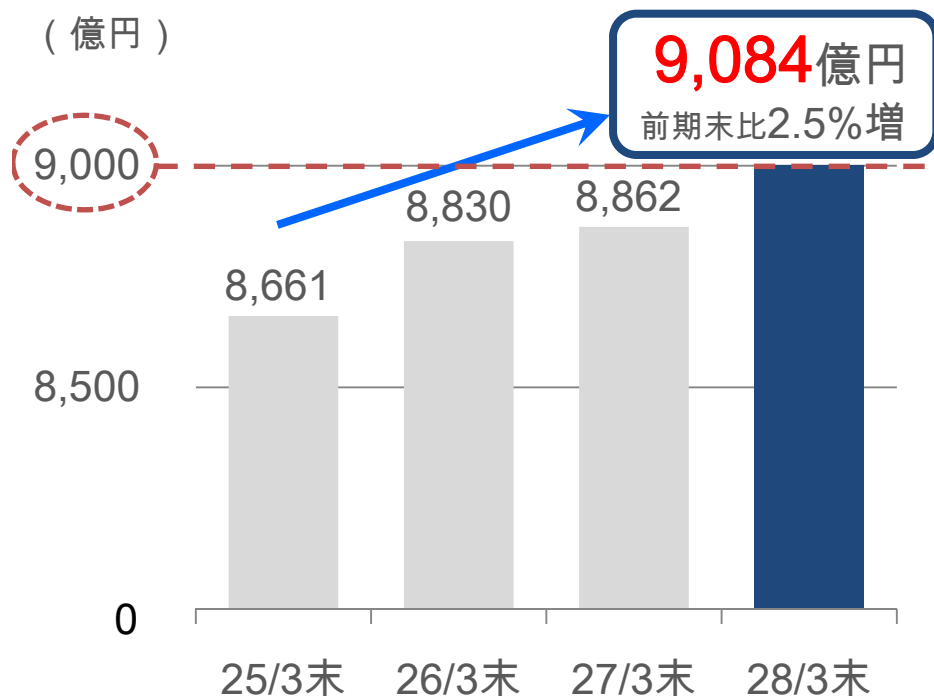
(百万円)

① 資金利益	△727
うち貸出金利息の減少	△240
うち有価証券利息配当金の減少	△546
うち預金利息の減少	5
② 債券関係損益	364
うち債券売却益の増加	358
うち債券償還益の減少	△34
うち債券売却損の減少	40
③ 経費	△261
うち物件費の減少	△305
(うち預金保険料の減少)	△223
うち人件費の増加	8
④ 総与信関連費用	△102
うち個別貸倒引当に関する影響	△115
うち貸出金償却に関する影響	△63
うち一般貸倒引当に関する影響	83
うち偶発損失引当に関する影響	31
うち償却債権取立に関する影響	△40

預金

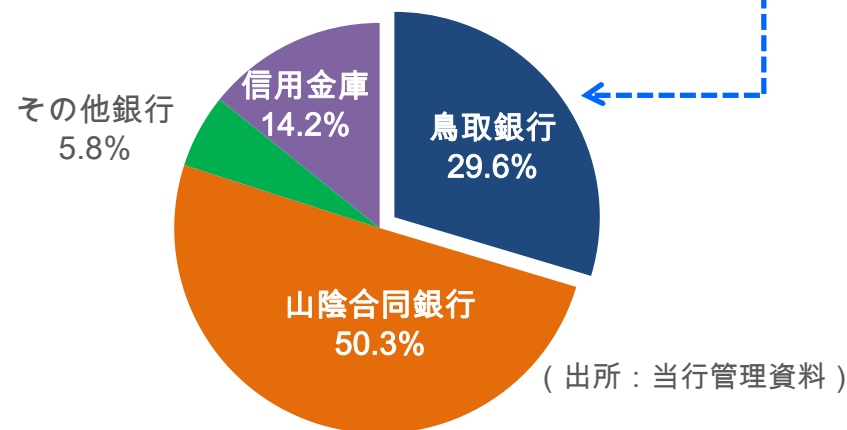
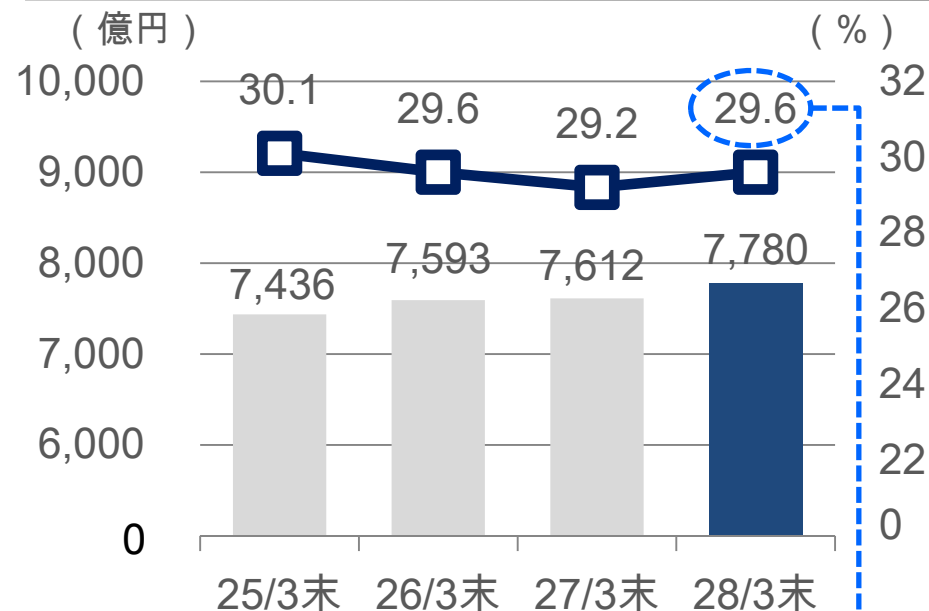
預金残高は前期末比+221億円増加、期末では初の9,000億円台へ

預金残高



年間増減額	増減額
個人預金	+149億円
法人預金	△45億円
公金預金	+113億円
金融預金	+5億円

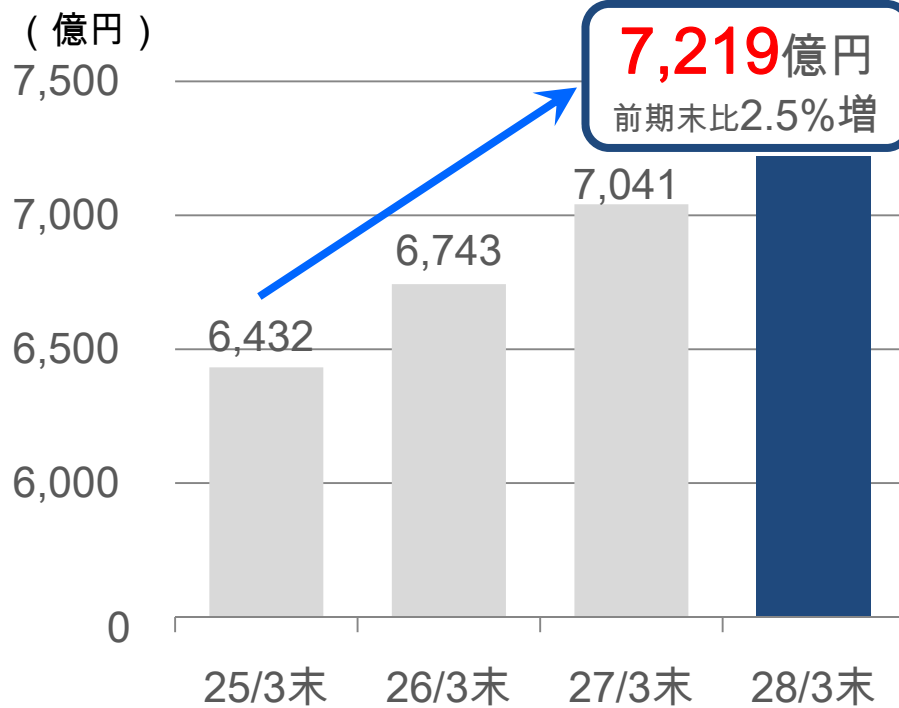
鳥取県内預金残高・シェア



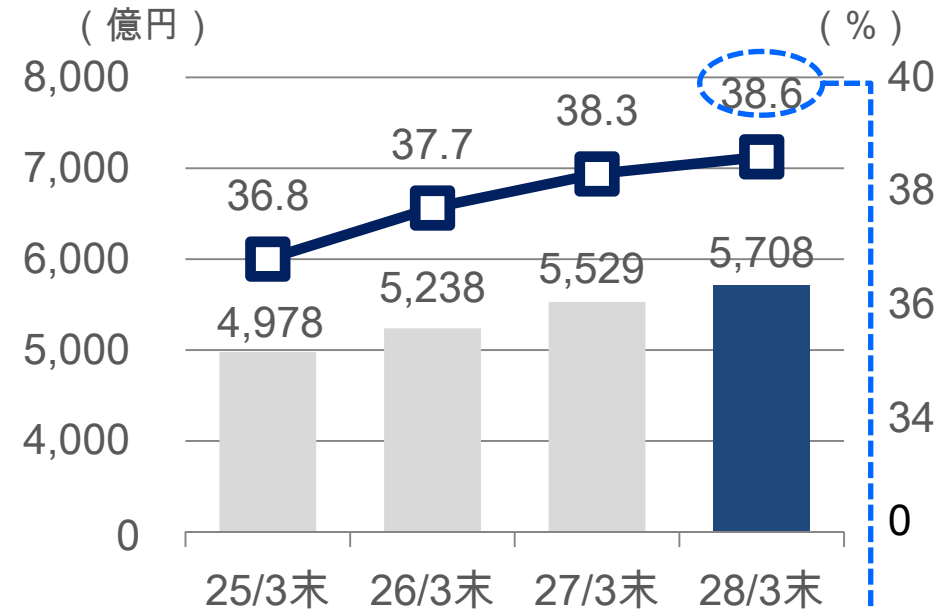
貸出金

貸出金残高は引き続き増加し過去最高を更新、貸出金シェアは38.6%に上昇

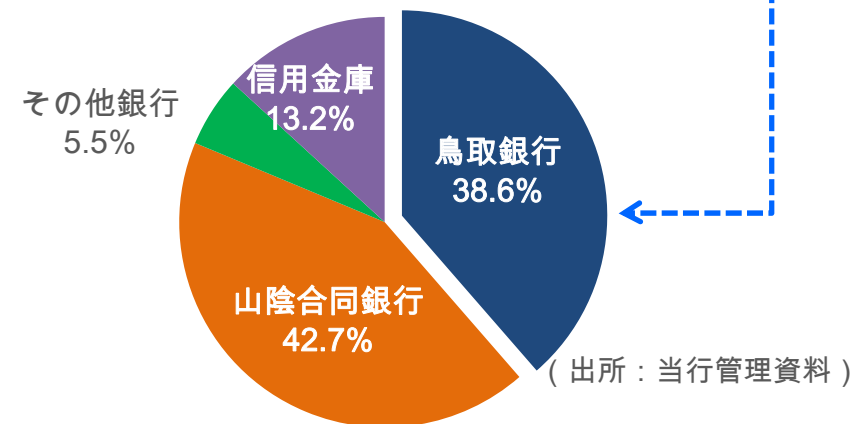
貸出金残高



鳥取県内貸出金残高・シェア



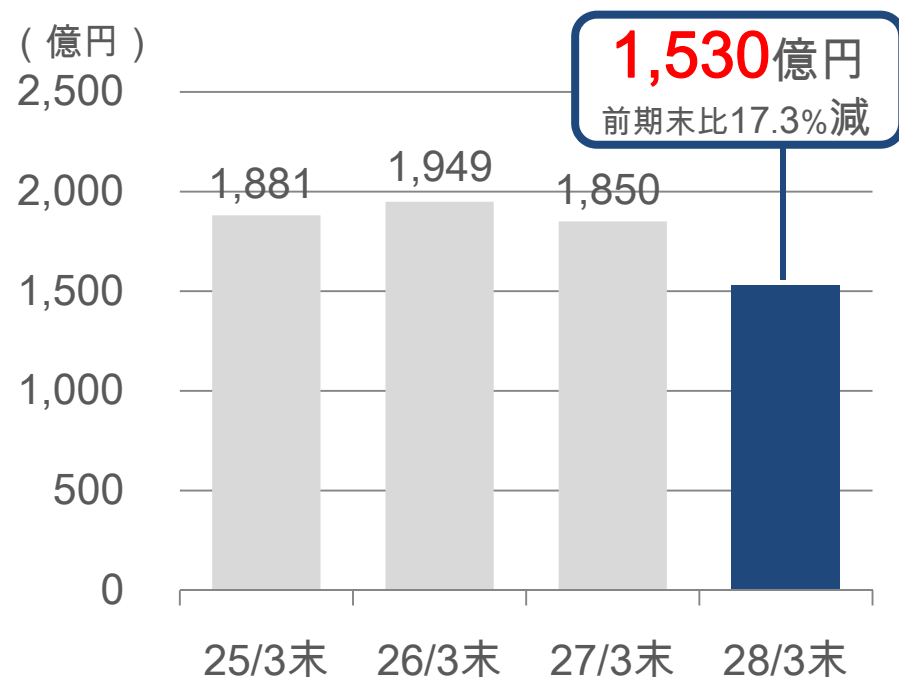
年間増減額	増減額
年間増減額	+178億円
中小企業向け	+9億円
個人向け	+51億円
公共向け	+67億円
その他	+49億円



有価証券

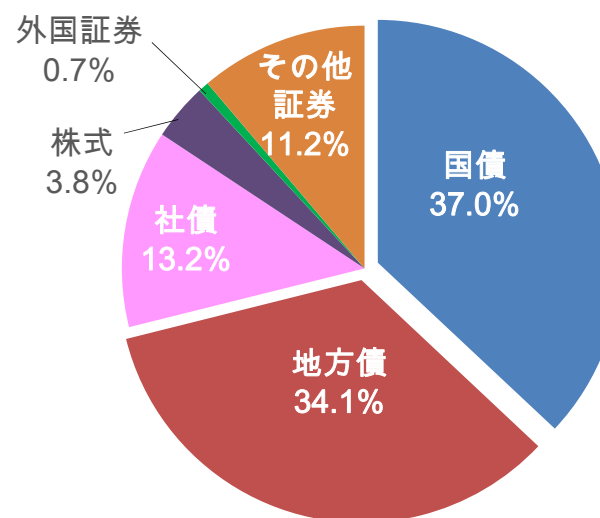
有価証券の半分以上は安全性・流動性の高い国債・地方債で運用

有価証券残高



年間増減額	△320億円
国債	△81億円
地方債	+34億円
社債	△49億円
外国証券	△73億円
その他	△150億円

残高構成比 (28/3末)



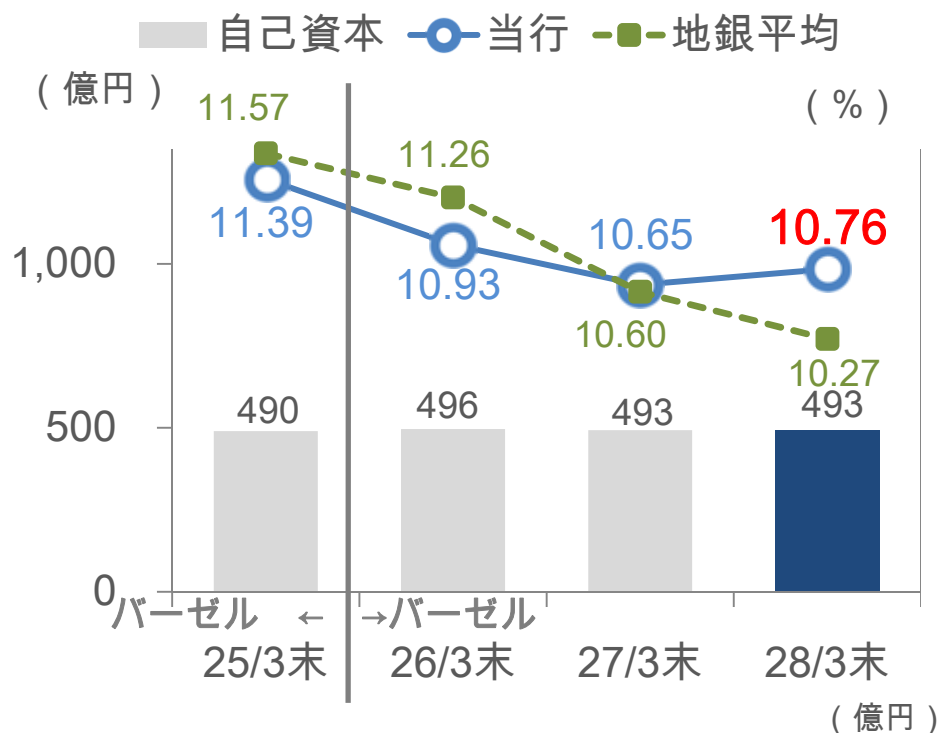
有価証券評価損益

	(億円)		
	27/3末	28/3末	増減
評価損益	80	71	△9
株式	8	1	△7
債券	20	39	+18
その他	51	30	△20

健全性

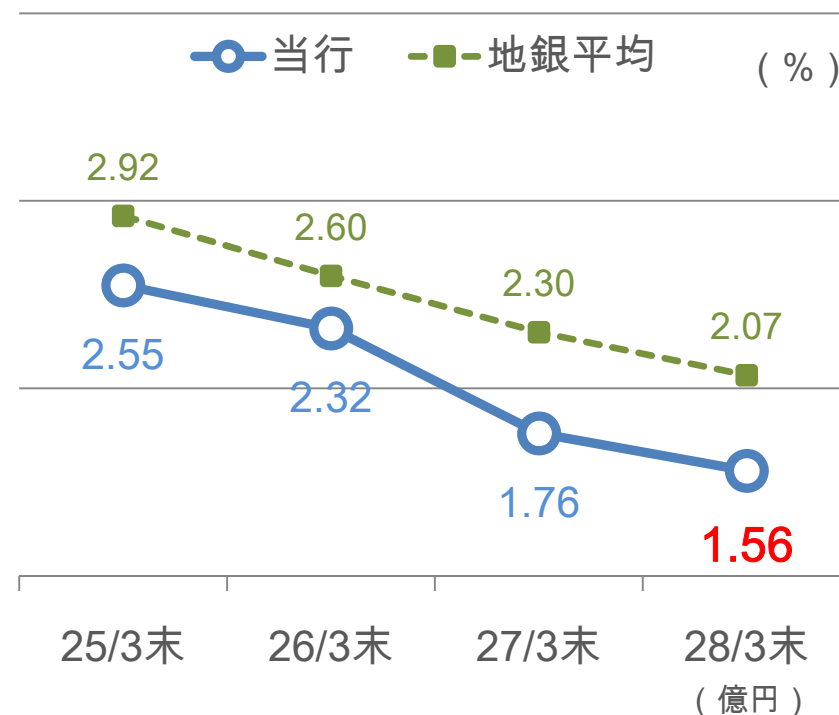
自己資本比率は引き続き10%台を確保、不良債権比率は1%台と低水準

自己資本比率



	27/3末	28/3末	増減
自己資本	493	493	+0
うち調整項目	△10	△13	△3
リスク・アセット等	4,631	4,583	△47
自己資本比率	10.65%	10.76%	+0.11%

不良債権比率 (金融再生法ベース)



	27/3末	28/3末	増減
不良債権額	126	115	△11
正常債権	7,050	7,234	+184
総与信額	7,177	7,350	+173
不良債権比率	1.76%	1.56%	△0.20%

平成28年度業績予想

平成28年度は経常利益20億円、当期純利益13億円を見込む

業績予想

	27年度	28年度予想	前年比
			(億円)
業務粗利益	134.5	133.0	△1.5
資金利益	119.4	112.0	△7.4
役務利益	11.6	13.5	1.9
その他業務利益	3.5	7.5	4.0
うち国債等債券関係損益	4.2	8.5	4.3
経費	105.7	112.0	6.3
うち人件費	47.3	51.0	3.7
うち物件費	52.8	55.0	2.2
実質業務純益 (一般貸引調整前)	28.8	20.5	△8.3
コア業務純益	24.5	12.0	△12.5
与信コスト	△2.5	1.5	4.0
経常利益	33.6	20.0	△13.6
当期純利益	21.0	13.0	△8.0
1株当たり配当金 (年) ※株式併合勘案前	6.00円	6.00円	±0円
年間配当額 (百万円)	562	562	0
配当性向 (%)	26.6	43.2	16.6